

Day19：交わりを育てる

「キリストが、その命を私達にお与えになったことを悟る時、愛とは何であるかが理解できるようになります。それゆえ、私達も他の信者のために自分の命を与えるべきなのです。」

(1ヨハネ 3：16、GWT)

「果報は寝て待て」ということわざがありますが、本当の交わり（愛の共同体）を育てるためには、神様の力と私達の努力の両方が必要です。パウロは「あなたがたは御霊によって、平和のきずなで結ばれました。ですから、あらゆる努力をして、そのきずなを保つように務めなさい。」と言っています。本当のところ、欠けの多い家庭で育ってきた私達は、交わりのエキスパートではありません。ですから、「神の家族（教会）の中でどのように振舞えばよいのかを知る」ことが必要なのです。愛の共同体を育てていくためには、一人一人が意欲的に次のこと学ぶよう決意する必要があるのです。

正直さ：あなたには、勇気をもって忠告してくれる友達がいますか？聖書は「愛をもって真実を語りなさい」と教えていますが、私達は衝突するのを恐れて、表面的な付き合いから抜け出せずにいます。誰かが誤ったことをしているときに、陰口や噂話をするのではなく、「その人の所へ行って、穏やかにその人を正してあげる」ことで、隠し事の絶えない交わりをやめることができます。パウロは「もうこれ以上嘘をついたり、見せかけたりするのはやめましょう。あなたの隣人に真実を語りなさい」と勧めています。「正直さ」と、「いつでもどこでも言いたいことを言う」ことは別物です。タイミングと方法をよく考えて、相手愛する家族の一員として話すことが大切です。

謙遜さ：私達は絶えず人と比べ、優越感や劣等感に悩まされているものです。プライドは人と人との間に壁を作る一方、謙遜は互いの間に橋をかけ、関係を滑らかにします。自分の弱さを認め、相手の弱さに忍耐し、自分の間違いを素直に受け入れることで謙遜さが身につきます。謙遜とは、「私はだめだ」と自分を軽んじるのではなく、自分のことばかり考えるのをやめることです。人に仕えることに焦点が当たっているために、自分のことが二の次になっているとき、あなたは謙遜さを身につけているのです。

思いやり：思いやりとは、違いを尊重し、お互いの気持ちに敏感になり、いらいらさせる人たちに対して忍耐強くあることです。あなたの教会やグループに「難しい人」はいませんか？どうして神様はこのような人たち（自分を含め！）を、置かれるのでしょうか？その関係によって思いやりを学び、わたしたちが成長するためなのです。私達は皆、独特の癖や人を不快にさせる特徴を持っています。私達は、「自分にとって都合の良い人だから」ではなく、その人が「神様の子供であり、家族の一員であるから」互いに尽くしあい、尊敬しあうのです。そのためには「相手の背景を理解し、生い立ちを知る」ことが助けになります。そうすることで、相手を思いやることができるようになるのです。

秘密を守る：グループ内で、勇気を持って分かち合った傷・失敗・必要が外部に漏れていたらどんな気持ちがするでしょうか？噂話や、陰口、祈り課題を漏らしている人がいるとき、私達は毅然とした態度ではっきりと注意することが大切です。最優先するのは、あなたのグループがいつも安全で暖かい場所であることなのです。

頻繁に集まる：交わりは気が向いたときにするものではありません。頻繁に、しかも定期的

Daily Devotionals

第二の目的：あなたは神の家族となるために造られた

に集まるよう聖書は勧めています。深い人間関係はインスタントにできるものではなく、多くの時間をかけなくてはなりません。たとえ気が向かなくても、一緒に集まって時間を投資することが必要なのです。あなたの交わりには、以上のような特徴があるでしょうか？本物の交わりを育てることは簡単ではありません。しかし、そこから生まれるすばらしさは何にも変えがたいものなのです。

今日のポイント：愛の共同体（交わり）を築くには、私の献身（コミットメント）が必要です。

考えてみよう：以上のような特徴をもつ、交わりグループを作るために私は今日から何ができるかな？